

え つ み

越美山系直轄砂防事業 説明資料

令和元年10月4日

国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所

目 次

1. 事業の概要	
1) 流域の概要	1
2) 事業の目的及び計画内容	2
2. 評価の視点	
1) 事業の効果	3
2) 事業の進捗状況、進捗見込み	5
3. 県への意見聴取結果	6
4. 対応方針(原案)	6

1. 事業の概要

1) 流域の概要

- ・ 揖斐川・根尾川の上流には、大規模崩壊地や土石流危険渓流等の荒廃地が分布
- ・ 計画基準点より下流には、市街地や国道21号、JR東海道本線等が存在
- ・ 揖斐川の上流には、横山ダム等の治水施設や発電所が存在

■ 越美山系砂防流域諸元 (昭和43年より直轄)

直轄砂防区域面積 : 約873km²

平均溪床勾配 :

揖斐川(1/100) 坂内川(1/150) 日坂川(1/50) 高地川(1/75)

根尾川・根尾西谷川(1/75) 根尾東谷川(1/65)

直轄砂防区域内市町村 : 本巣市、揖斐川町

年平均降水量 : 約2,500mm(揖斐川雨量観測所)

事業期間 : 2011年度～2039年度 (平成23年度～令和21年度)

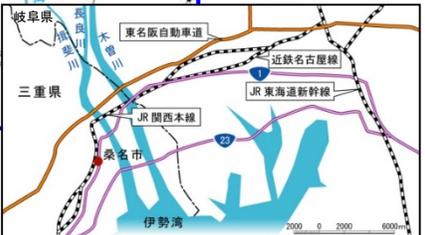
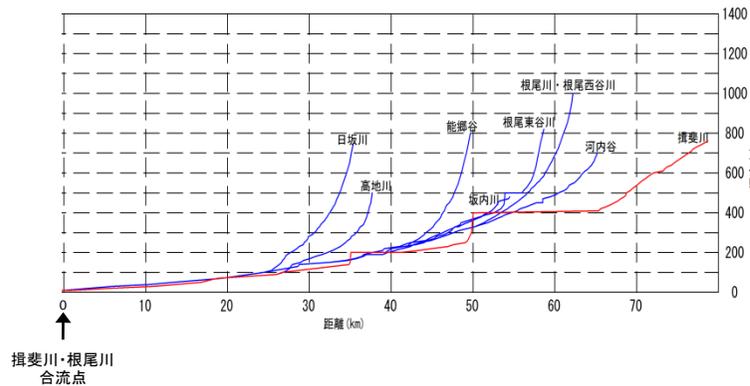
事業費 : 611億円

主要施設 : 砂防堰堤、溪流保全工、床固工

事業進捗 : 事業費進捗率約35% (前回評価時約23%)

B/C : 4.3 (前回評価時4.4)

越美山系砂防流域の主要河川縦断面図



越美山系砂防流域図

2) 事業の目的及び計画内容

●全体計画の目的・目標

年超過確率1/100の規模の豪雨により、各支川流域から生産・流出する大量の土砂に対して、

- ・河道の土砂堆砂による土砂・洪水氾濫を軽減する。
- ・土石流災害による人的、財産被害を解消する。

●概ね30年間に進める事業の目的・目標

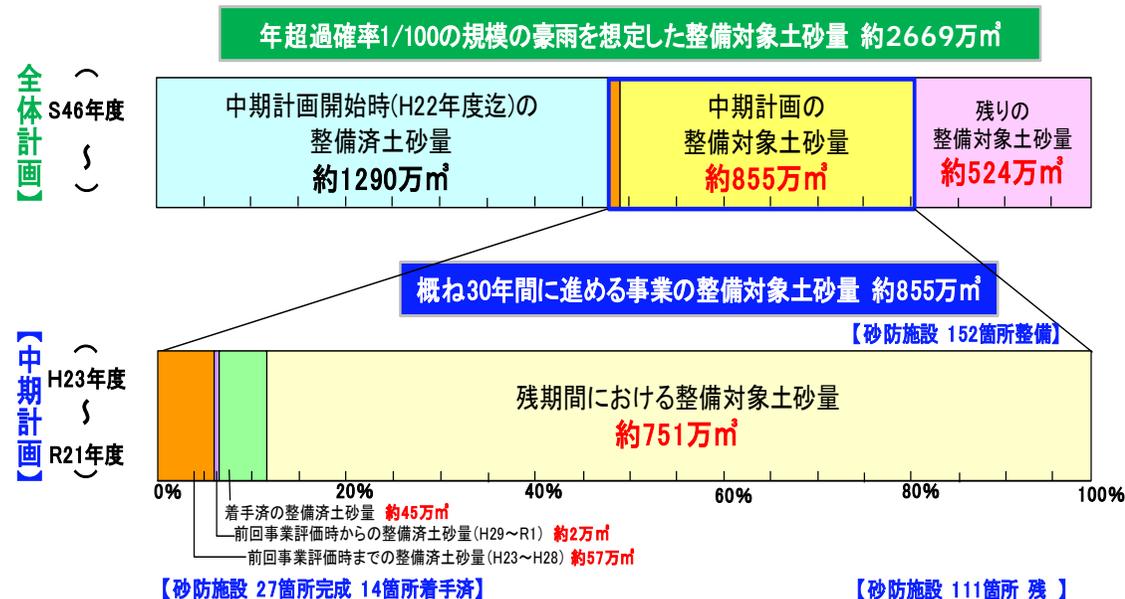
(平成23(2011)年度～令和21(2039)年度)

- ・平成元年9月災害規模および平成14年7月災害規模の土砂生産でも、下流域を含め地域が安全となるよう砂防施設整備を進める。
- ・特に主要公共施設、要配慮者利用施設等の保全を重点的・優先的に実施する。

中期計画開始時と完了時の想定被害状況

想定氾濫面	土砂・洪水氾濫： 約 31.6km ² (11.1km ²) 土石流氾濫： 約 3.7km ² (1.5km ²)	主要公共施設等	国道21号、国道157号、国道303号、国道417号 JR東海道本線、樽見鉄道樽見線 等 小学校 5 (0) 中学校 1 (0)
想定氾濫区域内人口	土砂・洪水氾濫： 約 30,900人 (1,500人) 土石流氾濫： 約 1,800人 (800人)	要配慮者利用施設	土砂・洪水氾濫： 老人福祉施設 11 (2) 児童福祉施設 7 (0) 医療関係施設 5 (1) 障がい者福祉施設 3 (0) 幼稚園 1 (1)
想定被害家屋数	土砂・洪水氾濫： 約 11,500戸 (600戸) 土石流氾濫： 約 662戸 (284戸)		土石流氾濫： 医療関係施設 1 (0) 幼稚園 1 (0)

()書きは中期計画完了時の想定被害状況
※面積・人口・家屋数は今後変わる場合があります。



全体計画、中期計画の進捗状況

2. 評価の視点

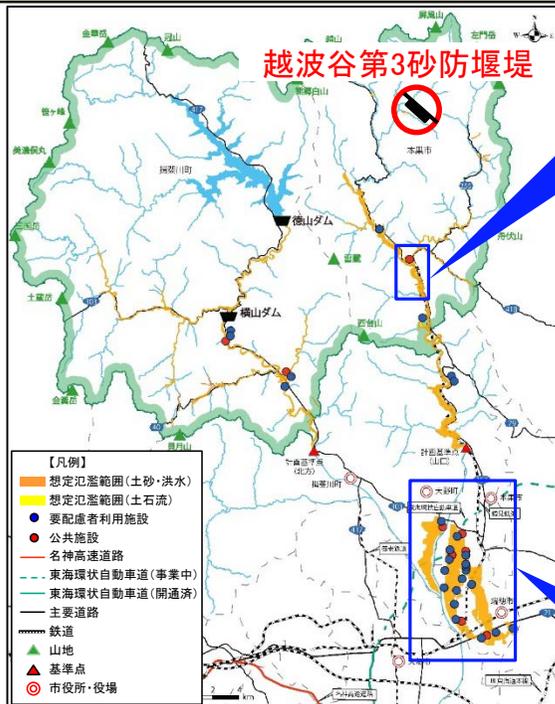
1) 事業の効果

■ 氾濫被害の軽減

砂防施設の整備により、保全対象(家屋、田畑、工場、公共施設、重要交通網など)への被害を軽減しています。中期計画完了時には氾濫被害の軽減が見込まれます。

【効果発現例】

おっばだに
平成14年7月豪雨では越波谷で土石流が発生しましたが、完成していた越波谷第3砂防堰堤により捕捉し、下流への土砂・洪水による被害を未然に防ぎました。



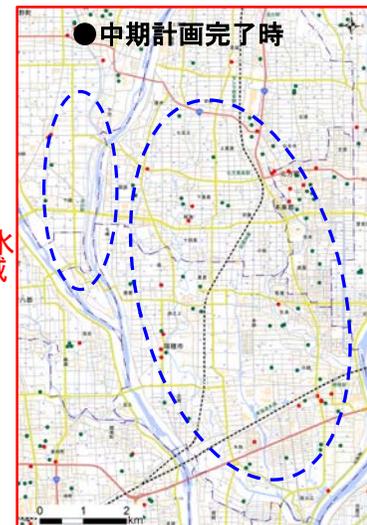
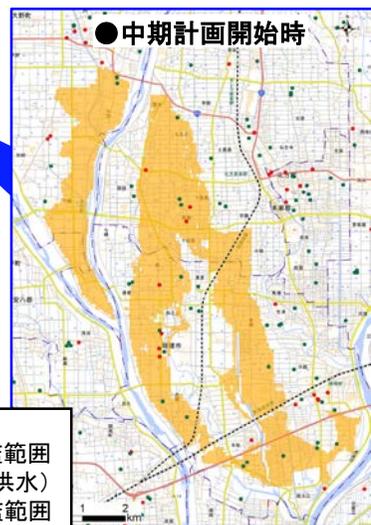
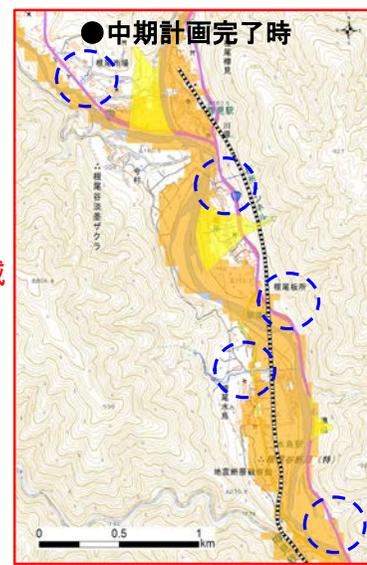
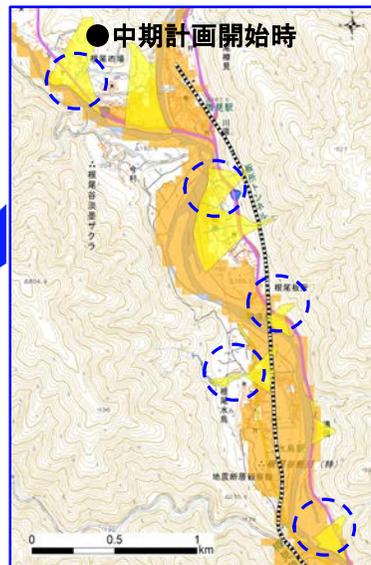
中期計画開始時(平成22年度)の土砂・洪水、土石流想定氾濫区域



越美山系砂防全体での被害状況

土砂・洪水氾濫による氾濫面積 土石流による 想定被害家屋数	中期計画開始時	中期計画完了時
	31.6km ² 662戸	11.1km ² 284戸

※面積・家屋数については、今後変わる場合があります。

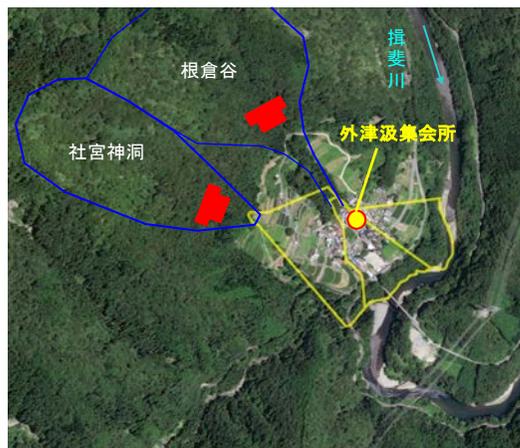


要配慮者利用施設・避難所の保全

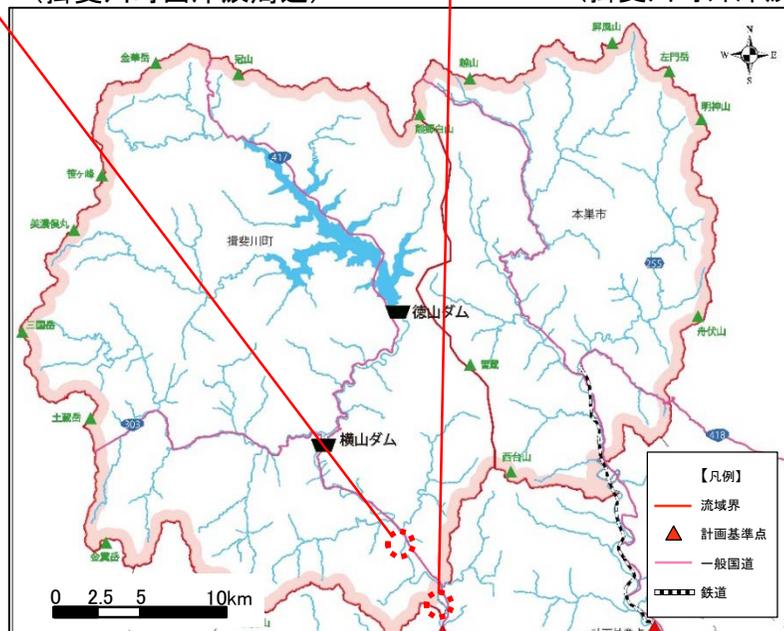
砂防施設の整備により、要配慮者利用施設・避難所の土砂災害対策を実施しています。中期計画完了時には、要配慮者利用施設・避難所の被害軽減が見込まれます。



にしづき
西津汲第2砂防堰堤
(揖斐川町西津汲周辺)



ねくら
根倉谷第1砂防堰堤等
(揖斐川町外津汲周辺)



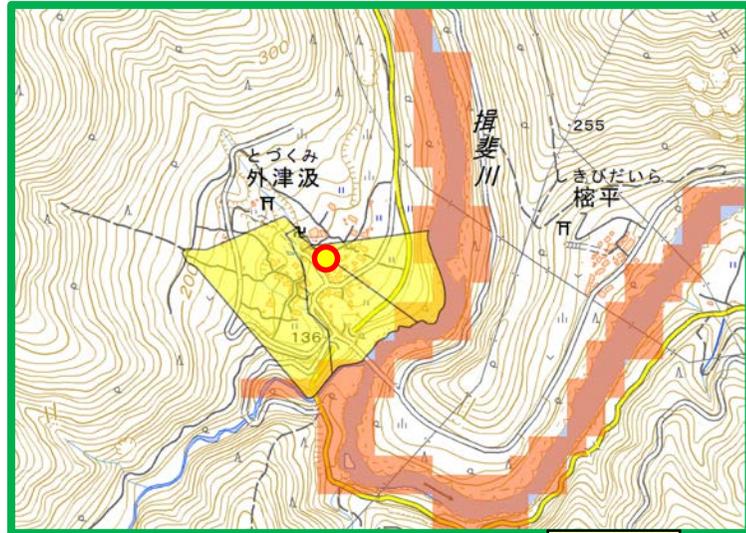
- 凡例
- : 想定氾濫範囲 (土砂・洪水)
 - : 想定氾濫範囲 (土石流)
 - : 避難所
 - : 砂防施設
- 【凡例】
- 流域界
 - 計画基準点
 - 一般国道
 - 鉄道

越美山系砂防全体での被害状況

	中期計画開始時	中期計画完了時
土石流による想定被害 要配慮者利用施設数	2施設	0施設
土石流による想定被害 避難所数	16施設	2施設

●中期計画開始時 (揖斐川町外津汲周辺)

※要配慮者利用施設数・避難所数は、今後変わる場合があります。
とづくみ



●中期計画完了時

整備後
土石流の被害軽減



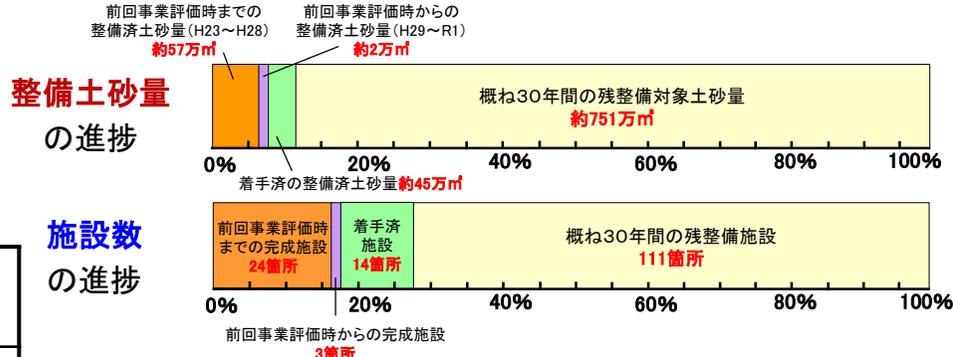
2) 事業の進捗状況、進捗見込み

■施設と整備土砂量

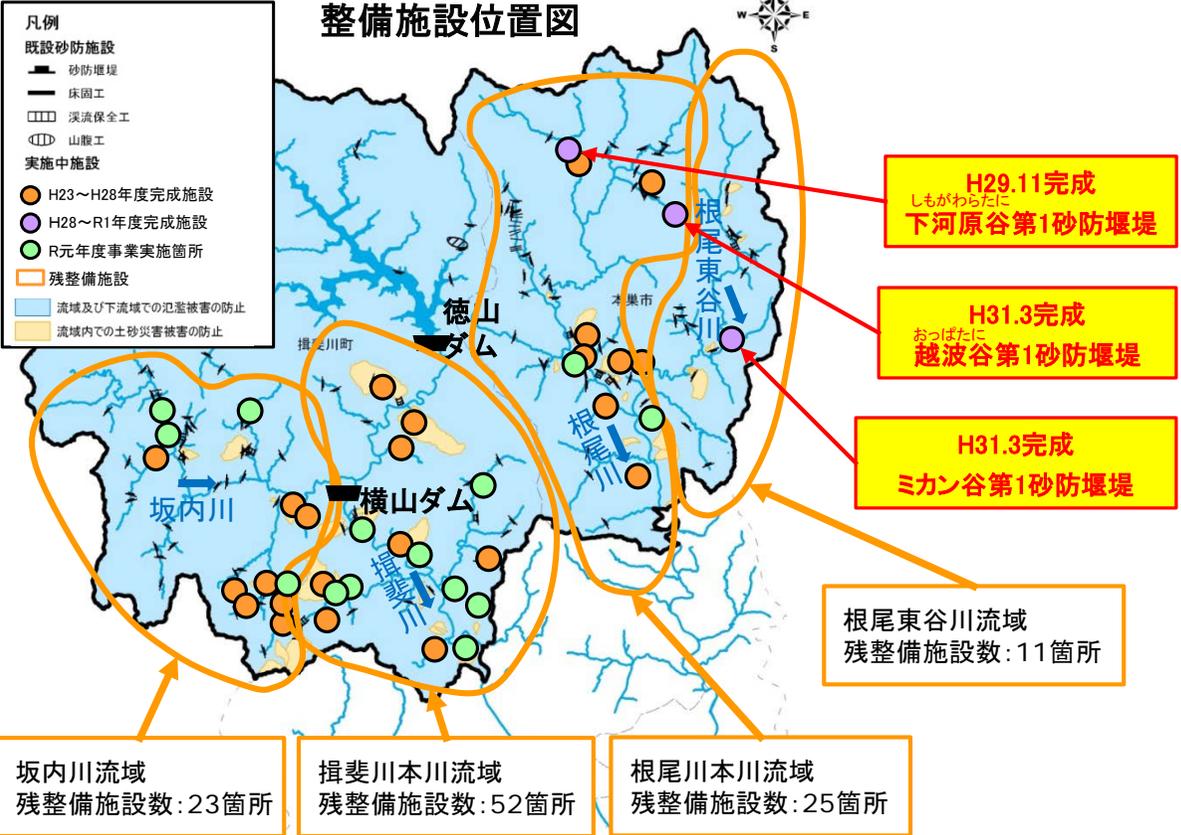
中期計画開始時(平成23年度)から、砂防堰堤25基、溪流保全工1箇所、山腹工1箇所が完成し、約59万m³の土砂を捕捉する効果が向上しました。また、流木等を確実に捕捉するために、透過構造を有する施設等の設置を推進しています。

項目	概ね30年間の完成施設(中期全体)	前回事業評価時までの完成施設(H23~H28年度)	前回事業評価時からの完成施設(H29~R1年度)	着手済施設	残りの整備施設
砂防施設	152箇所	24箇所	3箇所	14箇所	111箇所

【中期計画における整備の進捗状況】



■ハード対策



3. 県への意見聴取結果

県への意見聴取結果は、下記のとおりです。

【岐阜県】 対応方針(原案)のとおり、事業の継続について異存ありません。
なお、事業の実施にあたりましては、実施箇所及び事業費などについて工事実施前に本県と十分な調整をしていただくとともに、コスト削減の徹底をお願いします。

【三重県】 対応方針(原案)のとおり、事業の継続について異存ありません。
本事業は、揖斐川下流域の治水上重要な事業です。
今後も本県と十分な調整をしていただき、引き続きコスト縮減等による効率的な事業の推進をお願い致します。

4. 対応方針(原案)

以上のことから、越美山系直轄砂防事業は継続する。